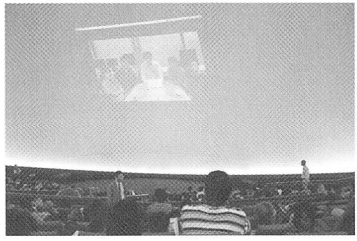
レポート

スペシャルナイト　巨大加速器で探る宇宙の始まり —テラスケールの地平を切り拓く LHC—　開催

6月19日(土)の夕方、スペシャルナイト「巨大加速器で探る宇宙の始まり—テラスケールの地平を切り拓くLHC—」が開催されました。今回のスペシャルナイトは、本格的な物理学の講演という大変硬派な内容にもかかわらず、早々に登録がいっぱいとなり、急遽、別室でもご覧いただけるよう中継の準備をいたしました。

スイス・ジュネーブ郊外のCERNという研究所に、LHCと呼ばれる巨大加速器が建設され、稼働を始めています。今回は、ここでの実験に参加している2名の研究者により講演を行っていただきました。最初に大阪大学 花垣和則准教授が「LHCで見渡す初期宇宙」というテーマで、引き続き神戸大学 山崎祐司准教授が「見つかるか、暗黒物質—LHC 実験の紹介—」というテーマで講演し、質量の起源や、暗黒物質の正体、ミニブラックホールの生成など、LHCで行われている現代物理学の最先端の実験の解説を行ないました。

休憩時間にはコーヒーが振る舞われ、後半はCERNとの生中継です。現地で研究を行なっている名古屋大学 戸本誠准教授を中心に若手研究者の方々からLHC実験の現場の様子を紹介していただき、また会場の方々との質疑応答の時間が設けられました。会場からは次々と質問の声があがり、関心の高さが感じられました。



CERNからの中継の様子

今回は特に高校生・大学生の方に多く参加いただきました。会場にお越しの方の中から、きっと将来、同じように最先端の物理を研究する方がでてくることでしょう。夜遅くまでご参加くださった皆さま、ありがとうございました。

江越 航(科学館学芸員)